



IOSCO/MR/30/2018

2018年10月8日

世界投資者週間 2018：投資者教育及び投資者保護 は IOSCO 及び IOSCO メンバーにとって最も重要な議題

証券監督者国際機構（IOSCO）は、第2回世界投資者週間を10月7日日曜日で閉幕した。しかし、IOSCOの投資者教育及び投資者保護についてのイニシアチブは、この一週間の世界規模のキャンペーンを終えた後も続く。

10月1日から7日にかけて、世界の主要な金融都市から地球の隅の都市まで、90の国の、世界中の証券当局者、取引所、国際機構、投資協会、教育団体、その他の関係団体が、投資者教育及び投資者保護を推進するために協力し様々な取組みを行った。特に、近年のオンライン・デジタル化した環境の下で賢い投資の重要性を理解させるべく、投資者に視点を当てた活動を広範な分野にわたって行った。

アシュレー・オルダーIOSCO 代表理事会議長兼香港証券先物委員会 CEO は「投資者教育及び投資者保護、金融リテラシーの重要性に光を当てる世界投資者週間 2018 の成功に貢献してくれた IOSCO メンバーと関係者の努力と取組みに、IOSCO 代表理事会を代表し大きな拍手を送りたい」と述べた。

ポール・アンドリュース IOSCO 事務局長は「このような世界中での取組みは、同じ目標に向かって関係者が協力する一助になる。世界中の投資家が、金融市場に投資する際に十分に準備ができており、教育を受け、保護が受けられるよう、この動きを維持することが重要だ」と述べた。

リテール投資家の教育及び保護に関わる IOSCO の政策立案委員会 C8 の議長ホセ・アレクサンドル・バスコ氏は「世界投資者週間の参加者と支援者に感謝を述べるとともに、この世界投資者週間の結果について報告することを楽しみにしている。全大陸に生じた熱意と創造性は、来る 1 年、投資者教育及び投資者保護についての活動にインスピレーションを与えるだろう」と述べた。

本取組みを支援する参加当局と国際機関についての詳細は、キャンペーンウェブサイト (www.worldinvestorweek.org) に記載されている。

NOTES TO THE EDITORS については省略

NOTE: This media release is a translation of the original English-language version and its content has not been verified by the IOSCO General Secretariat. For the original, please see: <http://www.iosco.org/news/pdf/IOSCONEWS514.pdf>